

紅葉する音楽

【邦楽】

岩崎千恵子(箏・三味線)

倉橋文子(箏・三味線)

杉沼左千雄(尺八)

and more

【Celtic Music】

さいとうともこ(フィドル)

赤澤淳(フズーキ)

トシバウロン(パウロン)

and more

邦楽と  
Celtic  
Music

2020年

11月14日[土]

京都・法然院

左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30番地

時間

18:30開場/19:00開演(21:00終演予定)

料金

3,000円※人数制限のため要予約

※小学生以下無料 ※中学生～大学生1,500円

※駐車場がございませんので、公共交通機関でご来場下さい。  
※お食事のご用意、出店等はありません。

予約 | [tokyoirishcompany@gmail.com](mailto:tokyoirishcompany@gmail.com) (本岡)



# 紅葉する音楽

## <邦楽>

### 岩崎千恵子(箏・三味線)

九州系地唄を林公子、倉部治子に師事。箏を小野衛に師事する。1997年より毎年アメリカの大学で演奏を続けており、2009年ノルウェーに演奏に行ったのを皮切りに、日本とノルウェーの交互での演奏会も行っている。



### 倉橋文子(箏・三味線)

大阪府出身。京都市在住。幼少より生田流箏曲を前田礼子(母)に、九州流地歌三絃を佐々川静枝に師事。現在フリーの演奏家として活動中。倉橋容堂(夫)とともにアメリカ、オーストラリア、カナダ、ベルギー、オランダ、スイス、中国でジョイントリサイタルを開催。2019冬には、中国雲南省で日本音楽を紹介。「あや音楽」主宰。



### 杉沼左千雄(尺八)

都山流尺八を3年学んだ後、大学3年の時、琴古流に転向し、人間国宝の山口五郎師に師事する。入門2年目で代箏古を務めるようになり、大学卒業と同時に唯一の内弟子となる。4年間修業の後、即興演奏を学ぶためにニューヨークへ渡り、サクソ奏者のケニー・ギャレットに師事する。ヒップホップ、ロック、ジャズの音楽家達と交流を持つ。2012年に京都に移り住んでから、地唄、明暗流本曲など古典音楽の演奏を再開する。



## <Celtic Music>

### さいとうともこ(フィドル)

20歳の時にアイリッシュ音楽に出会い、アイリッシュフィドルを功刀丈弘氏に師事。現在、Cocopeliene、JAM Jumble などのバンドを中心に全国各地でのライブやイベントにて演奏活動を行なっている。2018年3月、自主レーベルChicola Music Laboratoryより、初のソロアルバム「Re:start」をリリース。



### 赤澤淳(ブズーキ)

20歳の頃にアイルランド音楽に出会い、その不思議で懐かしい音色に魅せられる。その後アメリカ、オーストラリアに渡り、様々なミュージシャンに出会い、セッションを重ねる。現在は北欧や邦楽の奏者等と共演して、ブズーキの可能性を広げつつ関西を中心に活動中。



### トシパウロン(パウロン)

日本では数少ないパウロン専門のプレイヤー。他の楽器と波長を合わせグルーヴを作り出すことに長けているが首が曲がりメガネが弾け飛ぶほどダイナミックな動きには賛否両論がある。カナダCeltic Coloursで日本人バンドとして初の招聘を受けるなど、海外ツアー経験も豊富。John John Festival、カルマンのメンバー、Irish music party 主催。



## 邦楽 と

## Celtic Music

京都市左京区に佇むお寺、法然院。紅葉の季節。美しい庭を抜け、たどり着いた先で聴こえてくるのは、こんな音楽です。  
尺八、箏、三味線で奏でられる、邦楽のアンサンブル。情緒溢れるお寺の風情を感じながら、過去から現在、悠久の時を繋ぎます。  
フィドル(バイオリン)、ブズーキ、パウロン。異国の楽器で魅せる、スコティッシュやアイリッシュの楽曲。遠い国の音楽。なぜか懐かしいメロディー。高揚するリズム。季節を忘れさせてくれます。二つの異なる音楽が彩る至福の時間。  
どうぞごゆるりお過ごし下さい。

2020年

11月14日[土]

京都・法然院

左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30番地

18:30開場 / 19:00開演  
(21:00終演予定)

3,000円

※小学生以下無料

※中学生～大学生1,500円

※人数制限のため要予約